

1.5°Cライフスタイル

ライフスタイル・カーボンフットプリント分析と市民参加実験

地球環境戦略研究機関 (IGES)

私たちの暮らしによる気候変動への影響

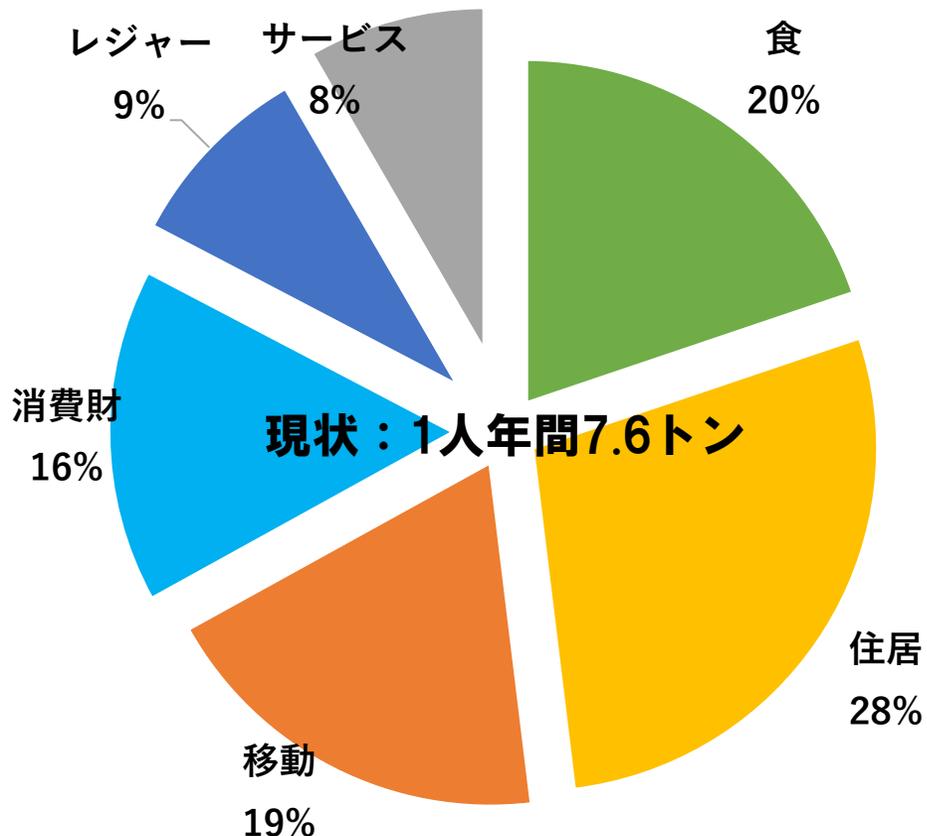


カーボン・フットプリント

購入する製品やサービスの製造・流通・廃棄等、サプライチェーンにおける間接排出を含めたライフサイクルにおける温室効果ガス排出

「ライフスタイル・カーボンフットプリント」 (暮らしの炭素負荷)

家計が消費する製品やサービスのライフサイクル(資源採取、加工、製造、流通、小売、使用、廃棄)において生じる 温室効果ガスの排出



出所:南齊規介 (2019) 産業連関表による環境負荷原単位データブック(3EID) 国立環境研究所; Nansai et al. (2020) Carbon footprint of Japanese health care services from 2011 to 2015. Resources, Conservation & Recycling, 152.; 総務省(2015) 平成27年産業連関表に基づき発表者作成

日本の「暮らしのカーボンフットプリント」の現状 (消費領域毎)

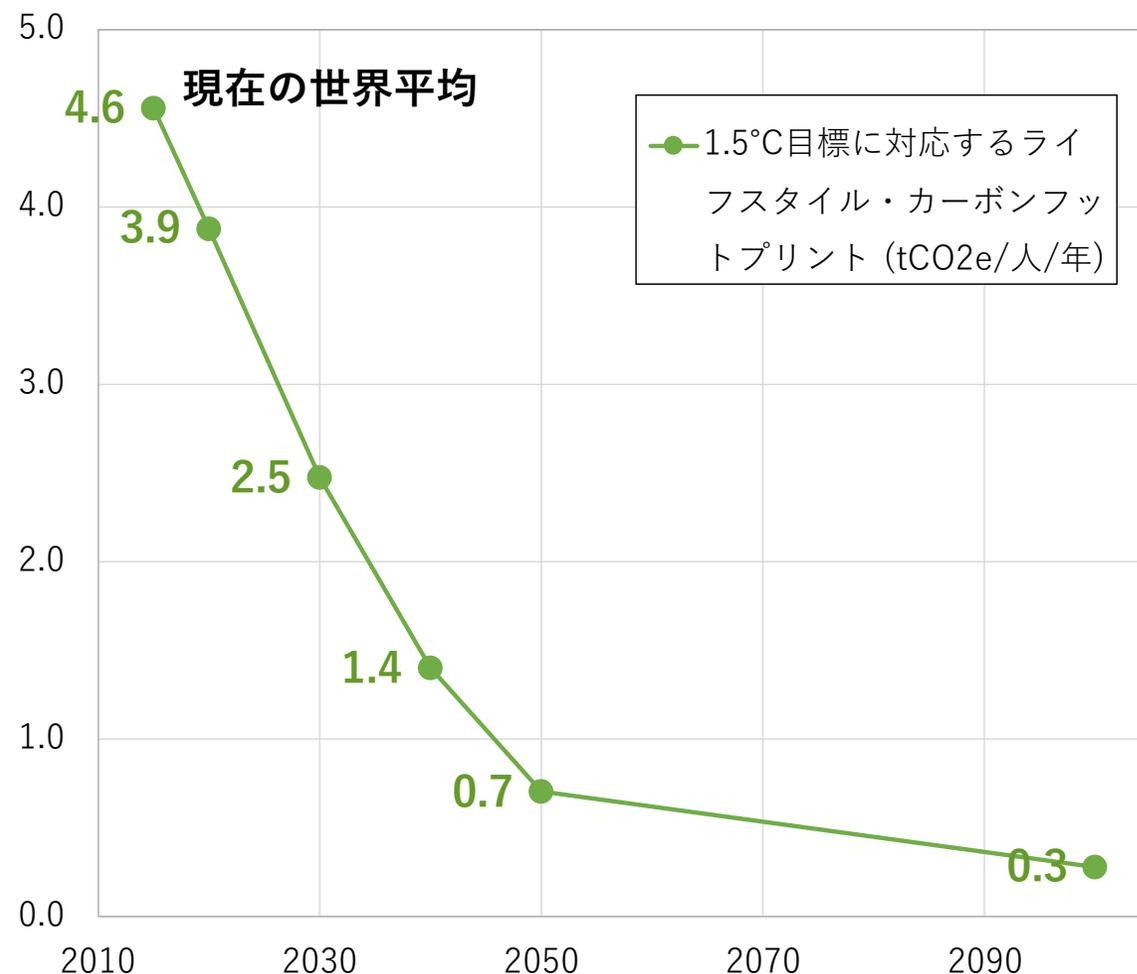
ライフスタイル転換は喫緊かつ不可避

日本を含む先進国が即座に大胆な行動をとらなければならない。

日本

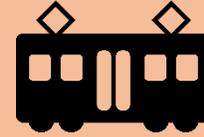
- **2030年目標達成には、**カーボンフットプリントを**3分の1に削減(2019年～2030年に毎年10%削減)**するための行動が今すぐ必要。
- **2050年までに**カーボンフットプリントを**9割削減**する必要あり。

世界共通のカーボンフットプリント目標 (tCO₂e/人/年)



出典：本報告書、図1.1 (p.3)

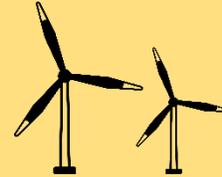
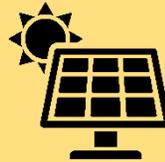
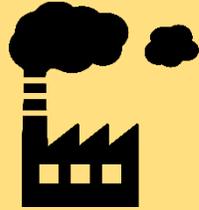
カーボンフットプリントを減らす行動変革(例)



買い物やレジャーは公共交通機関で

CO₂削減量

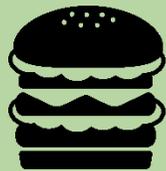
最大720kg/人/年



電力を再生可能エネルギーに

CO₂削減量

最大1250kg/人/年

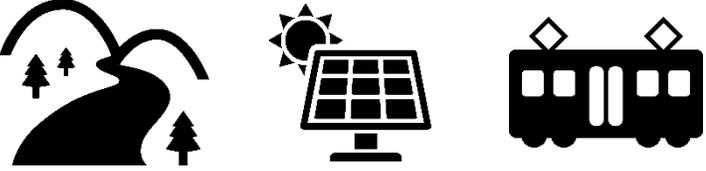
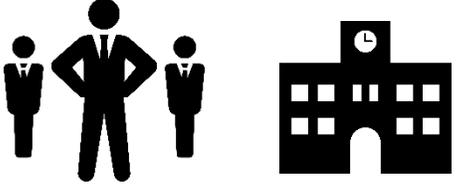
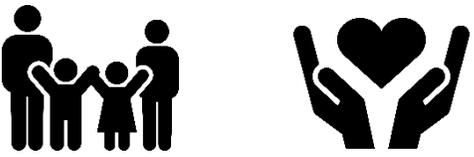


赤身肉を減らし野菜中心の食事を

CO₂削減量

最大340kg/人/年

暮らしの選択肢を左右するもの

<p>地域の自然やインフラ</p> 	<p>入手できる製品やサービス</p> 
<p>職場、学校、地域のルール</p> 	<p>自分や家族などのニーズ</p> 

地域や家族と一緒に考え、試し、学び
変えたいもの、変えられるものを共有

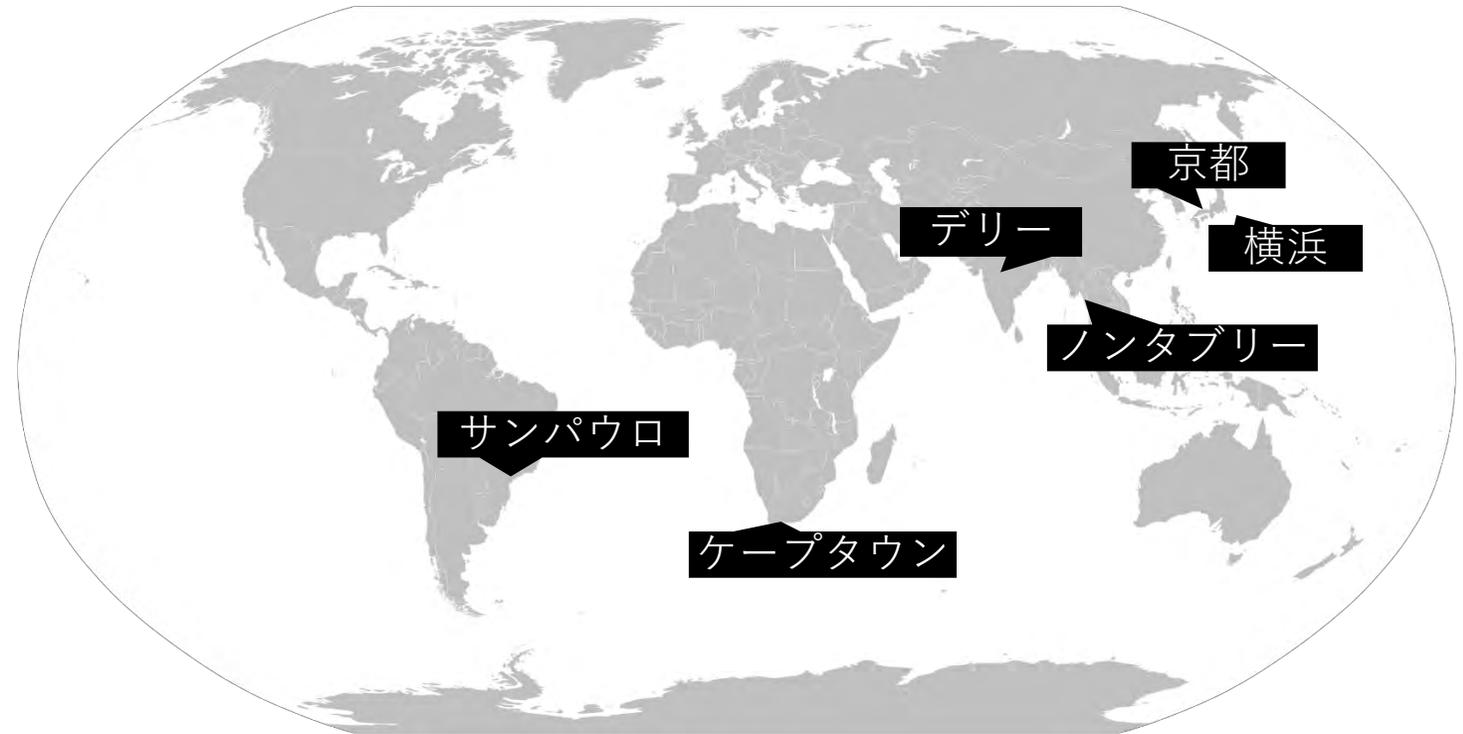


地域や街にあった
1.5°Cライフスタイルと支援策の検討

ワークショップ&家庭実験

ワークショップ&家庭実験

- 5カ国6都市で実施
(日本は京都・横浜)
- 市民参加で将来のライフスタイルを議論
- 各家庭で実験
- 実験結果に基づき
1.5°Cライフスタイルの将来シナリオ作成

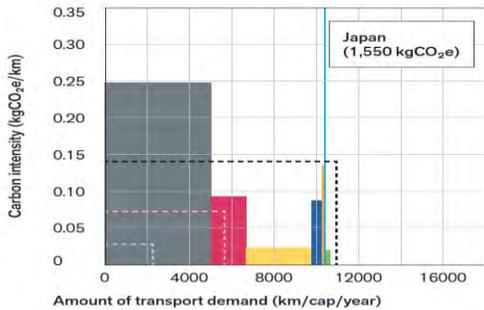
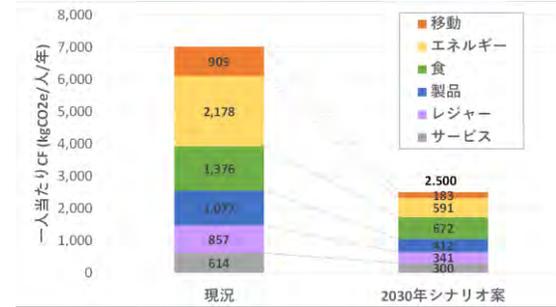


ワークショップ & 家庭実験

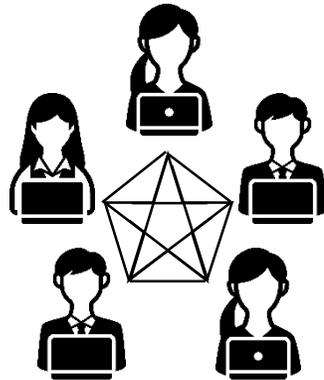
WS素材開発



都市シナリオ作成



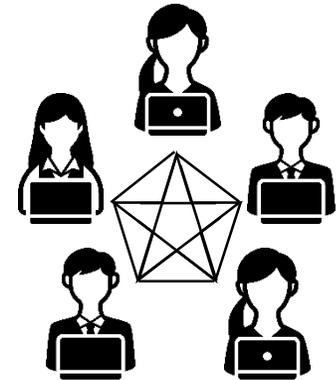
フットプリント推計



オンラインWS



家庭実験



オンラインWS

行動変革によるCFP削減効果と市民が予想する「採用率」

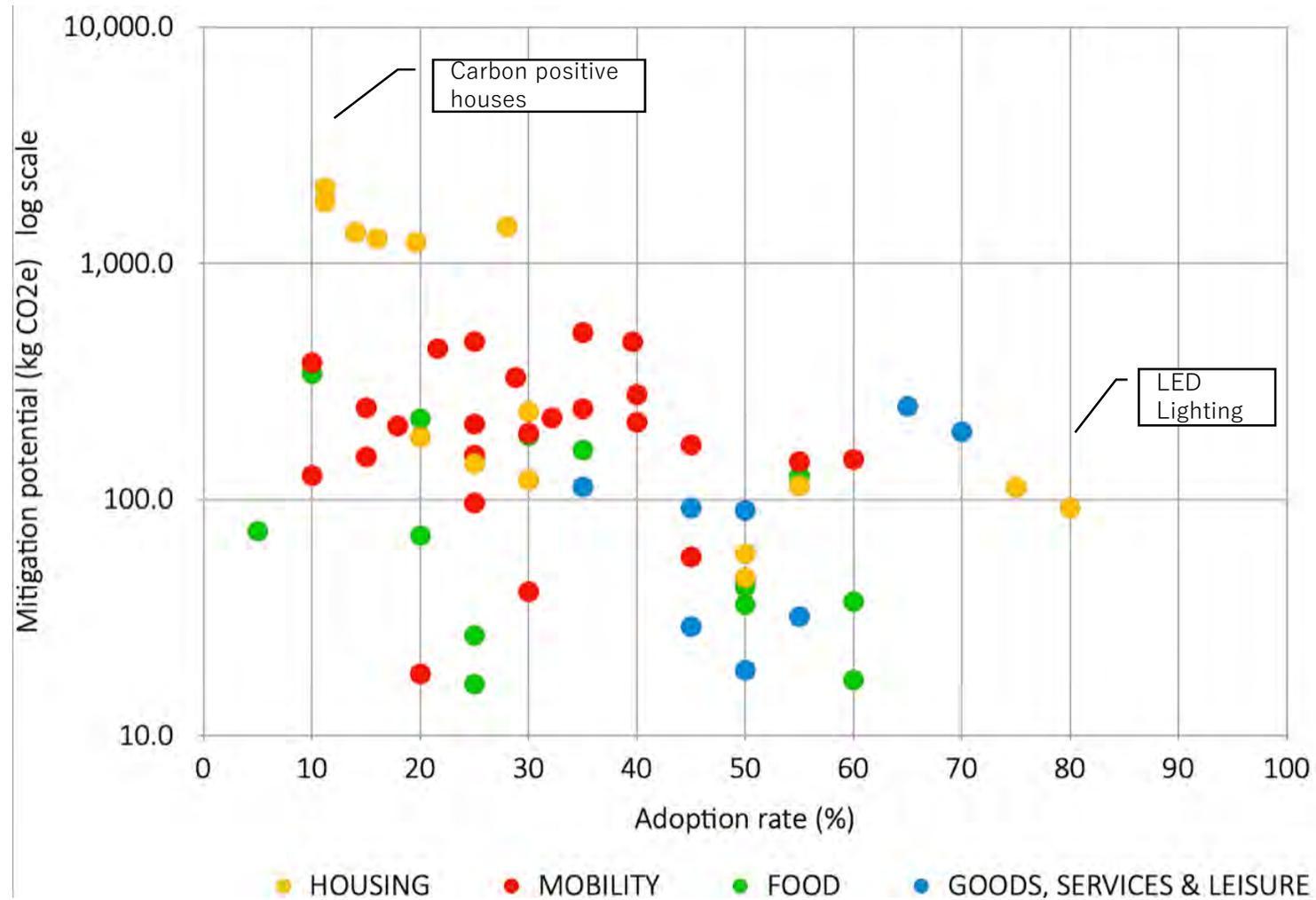
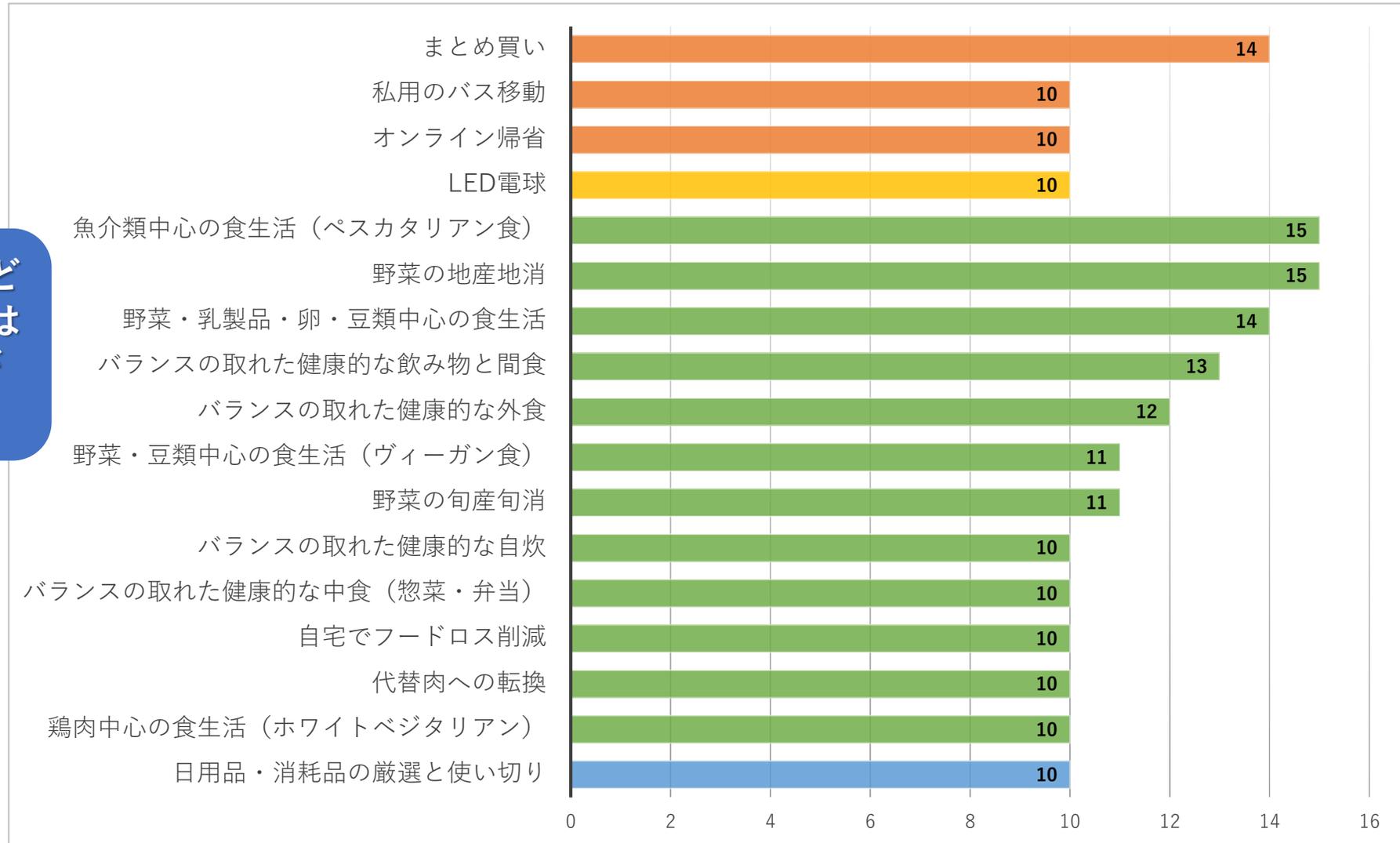


Fig 3: Correlation between CF reduction and adoption rate in Kyoto

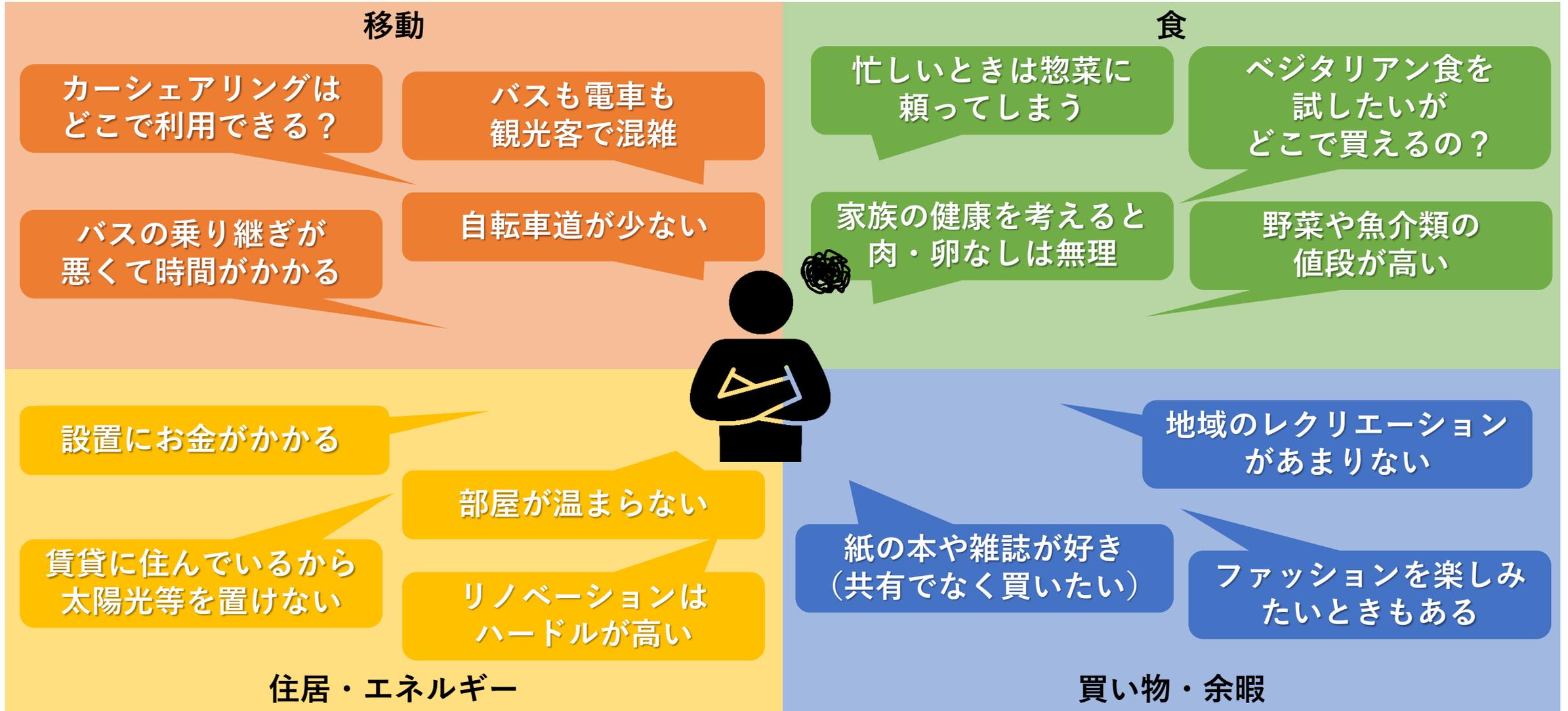
実験結果

家庭実験でチャレンジした行動(人数)

食や移動、買い物などのちょっとした行動はすぐに変えることができる



行動変革のハードル(家庭実験日誌より)



行政・ビジネス・市民の垣根を超えて1.5°Cライフスタイルの共創へ

政府・自治体

- 規則や標準の設定
- 交通・エネルギー等
インフラ整備
- 税・補助金の調整
- 公共料金の値下げ

- 1.5°Cライフスタイル
(移動、エネルギー、
食、余暇…)の実践
- 行政への提案、
働きかけ

1.5°Cの暮らし
ができる
地域社会・経済
の共創

家庭・地域・市民

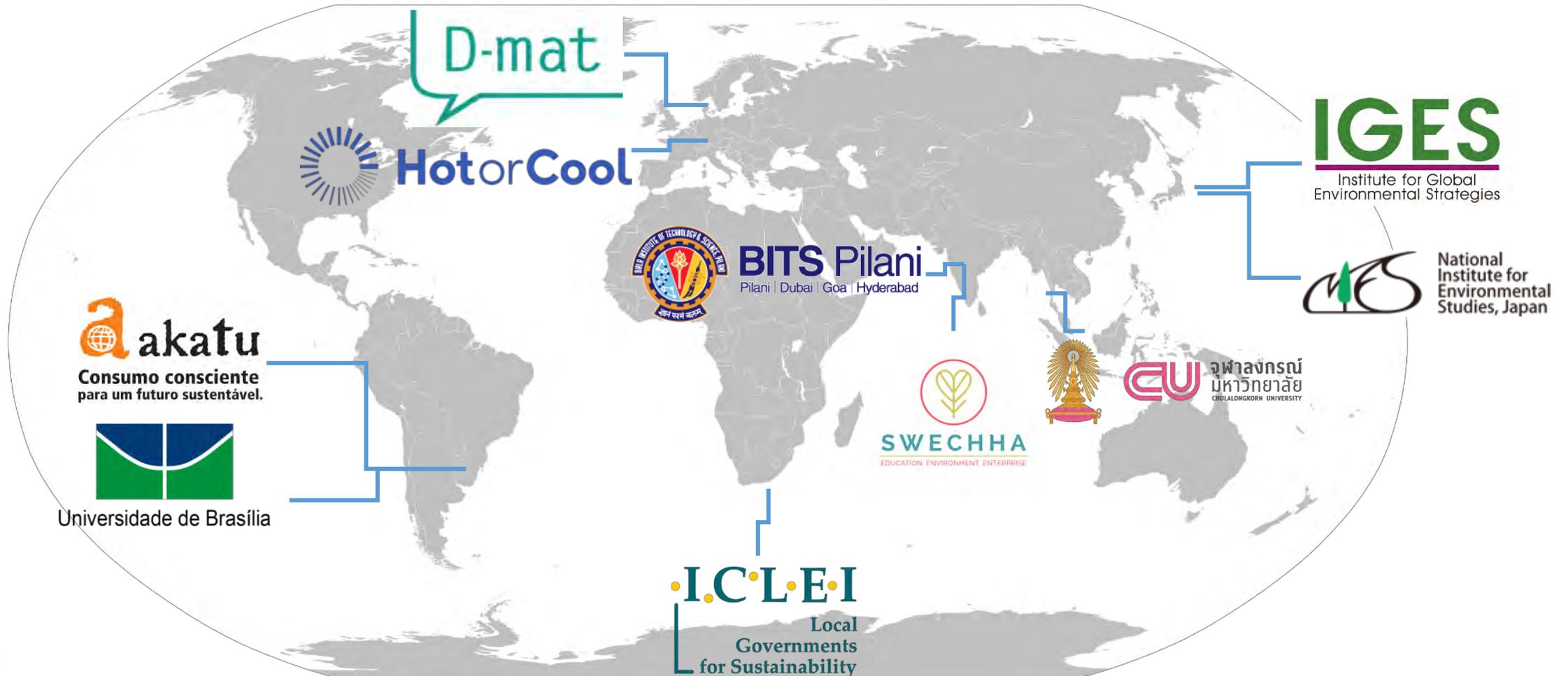
ビジネス

- 製品やサービスの開発
- 情報提供（ラベル、検索サー
ビス、コンシェルジェ等）
- テレワーク推進等働き方改革
- 脱炭素ビジネスへの投資

- 地域や職場・学校などでの
取り組みと発信
- 地域の資源や知恵の活用
- 企業への要望
- 市民・ビジネス協働リビン
グラボ等

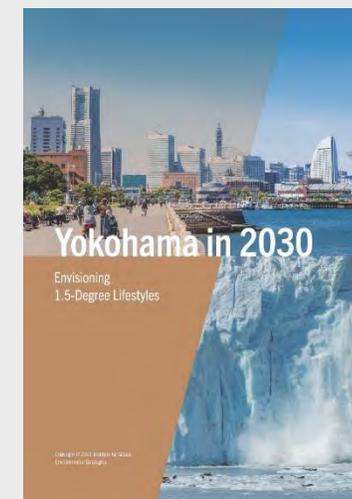
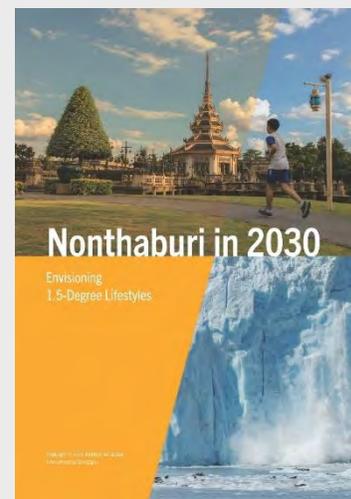
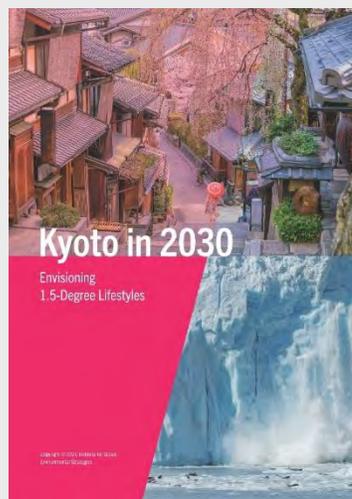
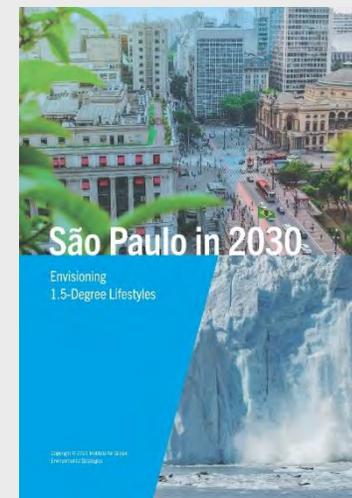
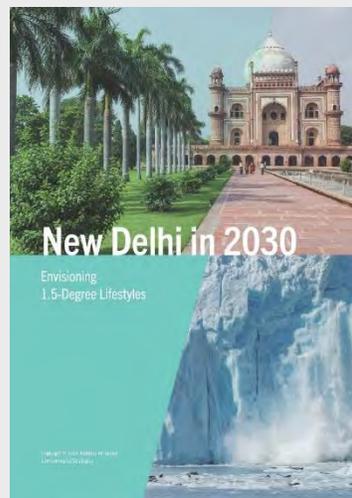
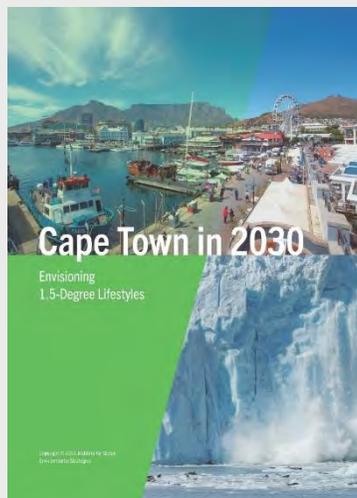
パートナー

国連持続可能な消費と生産10年計画枠組み(One-Planet Network)
持続可能なライフスタイル及び教育プログラム(環境省・スウェーデン主導)

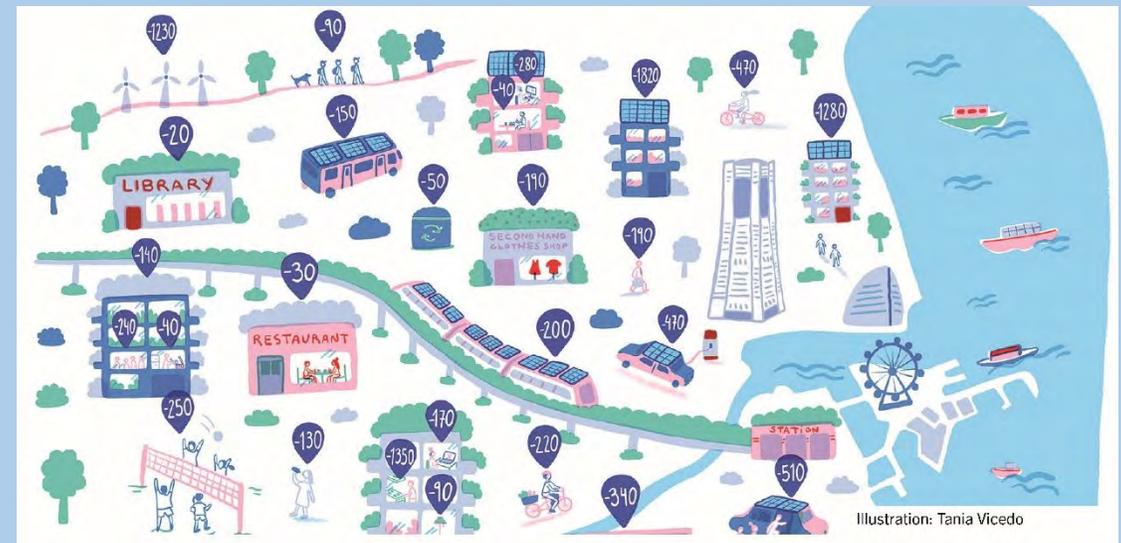
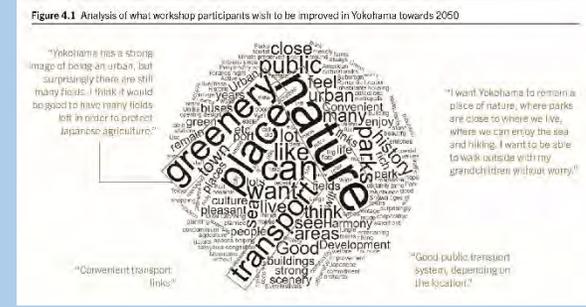
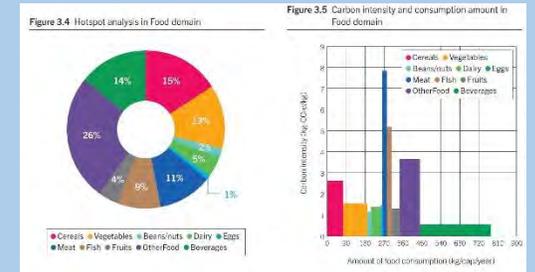
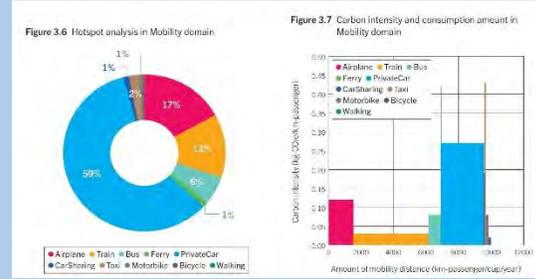
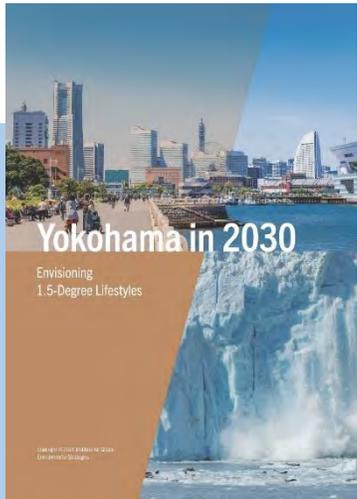


5カ国6都市のワークショップ・実験の成果

6都市のビジョン



5カ国6都市のワークショップ・実験の成果



5. LIFESTYLE CHANGE TOWARDS 2030

Illustration: Tania Vicedo

その他の活動

児童書

「はかって、へらそうCO₂ 1.5°C大作戦」全2巻
さ・え・ら書房



中学校出前授業



今後の展開

地方都市での
市民ワークショップ・家庭実験

北九州
鹿児島

地域脱炭素計画策定への貢献

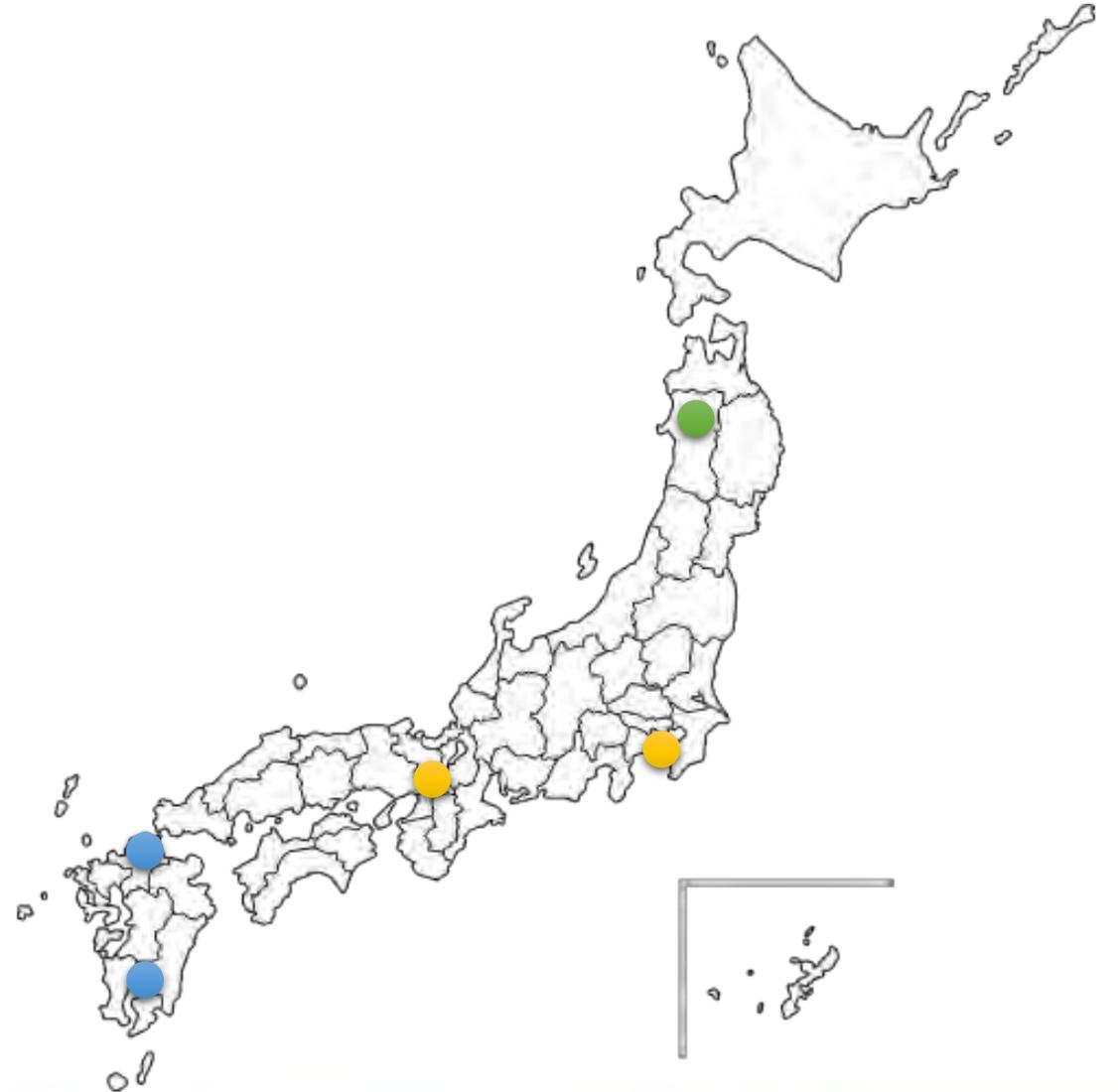
大館

地域企業、行政との協力
(例：対話&リビングラボ)

横浜
京都

学校教育・消費者教育

横浜
→全国



ご清聴ありがとうございました。